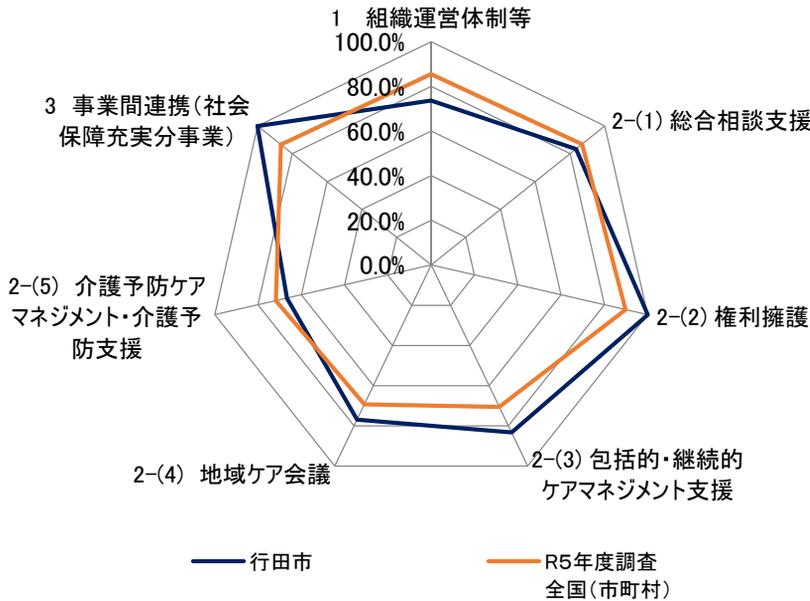


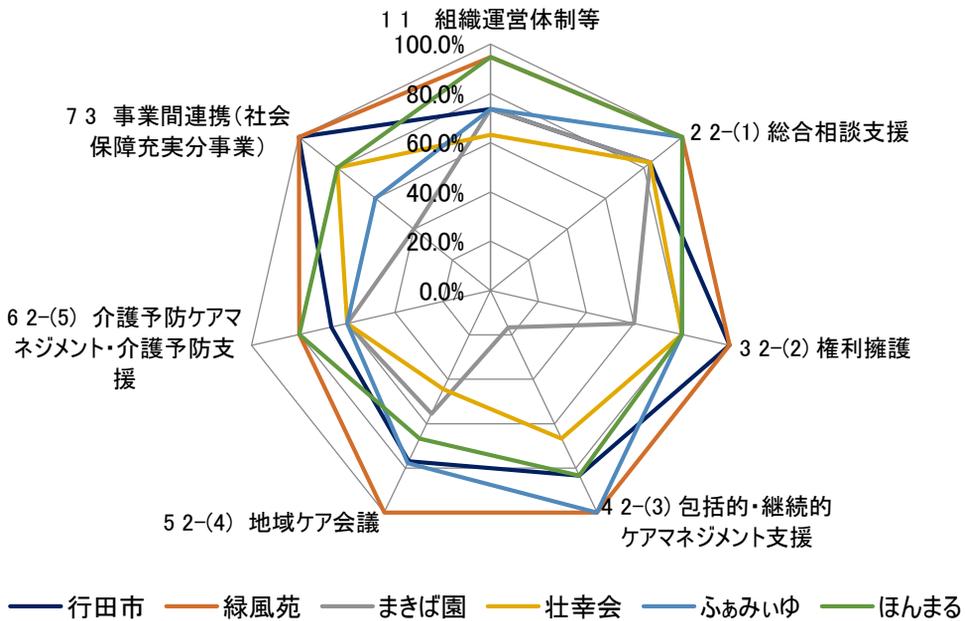
「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について」令和5年度調査結果より

【図：地域包括支援センターの取組状況（令和5年度）】

◆行田市と全国平均の比較◆



◆行田市と各センターの比較◆

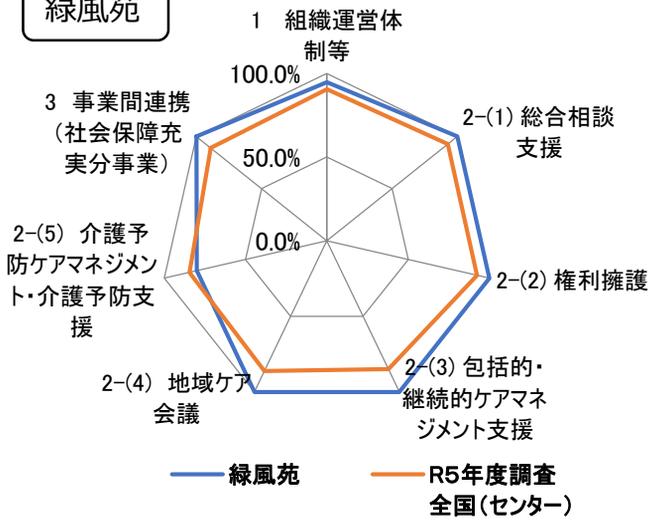


○ 市の取組とセンターの取組に差がみられる業務とその要因

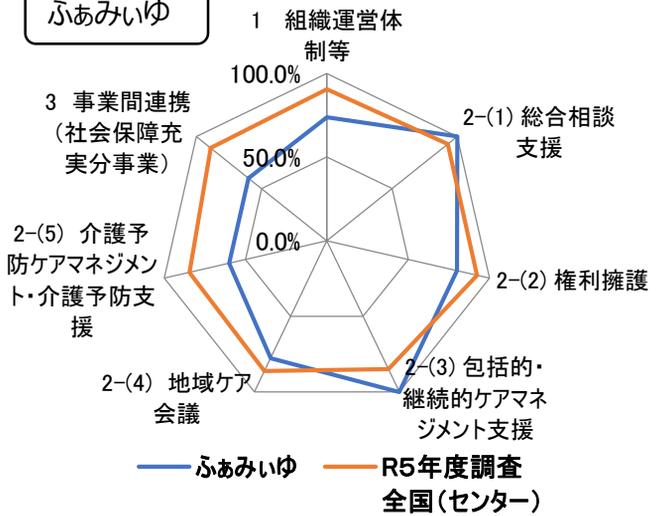
市の地域包括支援センター運営方針については、文書で各センターに配布し、示しているところですが、市が一方向的に示していたことから、センターとの意思疎通が不足し、理解が得られていなかったと思われます。また、センター職員の定着が不安定なセンターは、各事業に対する取組みが後退している現状があることについて、市の各センター業務取組み状況の把握が不十分となったと考えられます。

◆各センターと全国平均の比較◆

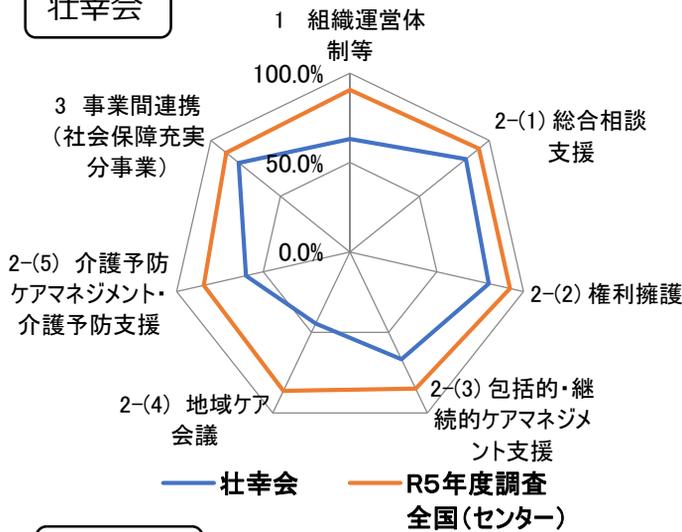
緑風苑



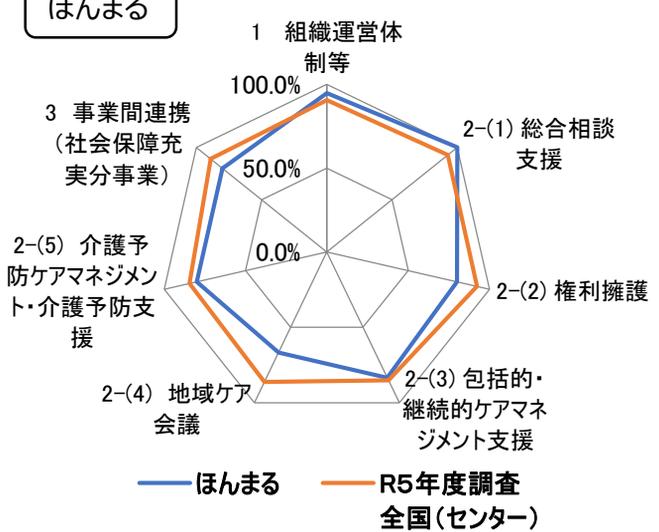
ふあみいゆ



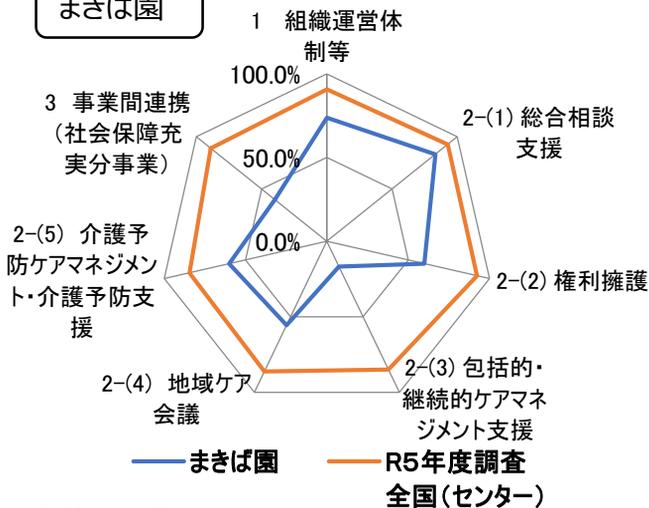
壮幸会



ほんまる



まきば園



○ 当市の地域包括支援センターの特徴

センターにより、各業務の評価にばらつきがあります。また、介護予防ケアマネジメント・介護予防支援、地域ケア会議の評価が低いセンターが多く、それらの分野の強化が必要です。

○ 現状で取組が進んでいない業務とその要因

地域ケア会議については、開催するノウハウ不足から、実績件数が少なく取組みが進んでいません。介護予防ケアマネジメント・介護予防支援は、セルフマネジメントを進めるための手法が市より提供できていないことが原因で、評価が低い状態です。

今後の取組

- 各地域包括支援センターの業務の取組みの均衡を図るため、地域包括支援センタースタッフ会議において、地域ケア個別会議研修の実施及び機能強化型地域包括支援センターの後方支援を強化します。
- 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援において、セルフケアマネジメントを推進するため、市民自ら介護予防に取り組める「介護予防手帳」等の導入を検討します。
- 地域包括支援センターの人材確保について、受託法人やセンター職員等と協議を行いながら、国の方針に従い「行田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例」の改正を行うとともに、市とセンターは協働で、地域の高齢者支援を継続します。